

就業体験の評価と課題について

高等部3学年（15日間）、2学年（10日間）の就業体験が無事終了しました。コロナ禍の中、中止・延期の事業所もありましたが、体験期間中、生徒たちは体調を崩すこともなく、それぞれの事業所で個々の目標を達成すべく業務に取り組むことができました。各家庭では健康管理に留意していただいたり、1日の振り返りをしていただいたりするなど、ご協力ありがとうございました。

事業所から評価されたこと、課題として挙げられたことを参考にまとめました。課題として挙げられたことは、日々の学校生活の中で改善できるように支援し、今後の進路選択や進路決定のための指導に生かしていきたいと思えます。

○評価

（連絡・報告）

- ・交通機関の乱れから、朝礼に遅れそうになったときに事前に電話連絡を入れることができた。また、それ以降、時間に余裕をもって来所することができた。

（挨拶・返事、コミュニケーション）

- ・朝と帰りの挨拶が元気よくできた。
- ・分からないことは、自分から質問していた。
- ・販売では「どうぞ。」と一声添えて両手で渡すことができた。
- ・挨拶、返事をしっかり行い、周りとのコミュニケーションを取る努力をしていた。
- ・困ったことはすぐにスタッフに聞いたり、しっかり報告したりできました。

（体力）

- ・長時間の立ち仕事に対する、体力、集中力が身に付いている。

（作業能力）

- ・自分勝手に判断をすることなく、しっかり確認し、根気よく作業を進めることができた。慣れてくると作業効率が上がると考えられる。
- ・指示されたことを素直に受け入れることができた。
- ・3回目の体験なので、要領よくスムーズに作業できた。今回とは違った作業も体験できればいい。
- ・丁寧かつ集中して仕事ができる。指示に対する理解も早く、要点をメモに取り、的確に仕事内容を把握することができた。
- ・理解力、集中力があるので、一つの作業を継続的に行うことができた。
- ・作業は、配慮された環境では正確にできた。生産性が求められる作業では、治具等が必要である。
- ・就業体験スタート時と比べ、選別不良の除去能力、段ボールを折る丁寧さ、正確さはとても良くなっている。実際に作業しながら、少しずつ良い悪いの判断を理解してきたので、もう少し体験期間があれば総合評価も上がったと思う。
- ・指示の飲み込みが早く、丁寧に手際よくできていた。次に何をするのかを自ら聞いたり、気付いて片付けたりできた。根気よく最後まで取り組めた。

○課題

(体力)

- ・体力面に若干、不安がある。(フルタイム勤務は厳しいかも)
- ・頑張りすぎる面がある。

(挨拶・返事、コミュニケーション)

- ・挨拶、返事はできているが、声が小さい。
- ・何気ないコミュニケーション(雑談)がもう少しうまくできるとよい。
- ・昼休憩のときに、自分の好きなことをして時間を過ごすことができればよい。
- ・独り言が大きく、回数も多いため、他者との関わり方が課題である。

(作業能力)

- ・清掃作業では、工程によって時間配分を考えて作業を進めることも必要である。
- ・作業は丁寧であるが、ペースが遅くて効率が悪い。

(身だしなみ)

- ・作業着のボタンが開いていた、襟が立ったままのときがあった。鏡を見て身だしなみを整える意識がもてると良い。
- ・忘れ物、落とし物が何度かあった。確認する習慣を身に付けてほしい。